

温室効果ガスの排出量について

<概要>

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第1項に基づく地方公共団体実行計画として、令和元年8月に「小笠原村地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定。

同法第21条第15項に基づき、地方公共団体実行計画に基づく措置及び施策の実施の状況（温室効果ガス総排出量を含む。）を公表しなければならないとされており、今般、2021年度（令和3年度）の温室効果ガスの排出量が集計されたため、村のホームページで公表する。

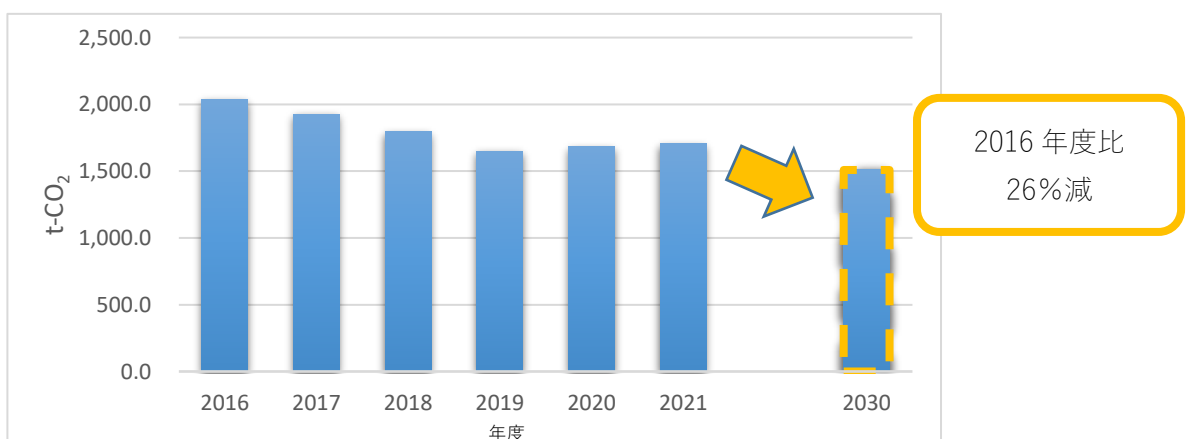
（1）実行計画における温室効果ガス削減目標

国の地球温暖化対策計画に記載されている「日本の約束草案」に基づいた中期目標（我が国の中期目標として、我が国の温室効果ガス排出量を、2030年度に2013年度比で26.0%減）を踏まえ、本村の事務事業に伴い排出される温室効果ガス総排出量を、目標年度（2030年度）までに基準年度（2016年度）比で、26%削減することを目標とする。

	基準年度（2016年度）	目標年度（2030年度）
温室効果ガス排出量	2,038.6[t-CO ₂]	1,508.1[t-CO ₂]
削減率	—	26%

（2）温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量の推移

	温室効果ガス排出量	基準年度比	前年度比
2016年度 (基準年度)	2038.6(t-CO ₂)	100(%)	—
2017年度	1926.4(t-CO ₂)	94.5(%)	94.5(%)
2018年度	1797.1(t-CO ₂)	88.2(%)	93.3(%)
2019年度	1648.4(t-CO ₂)	80.9(%)	91.7(%)
2020年度	1682.6(t-CO ₂)	82.5(%)	102.0(%)
2021年度	1706.6(t-CO ₂)	83.7(%)	101.4(%)



(内訳 その1) 購入電気使用の推移

	温室効果ガス排出量	購入電気使用量	排出係数
2016年度	1,404.3(t-CO ₂)	2,710,948.5(kWh)	0.000518(t-CO ₂ /kWh)
2017年度	1,316.7(t-CO ₂)	2,654,733.8(kWh)	0.000496(t-CO ₂ /kWh)
2018年度	1,267.5(t-CO ₂)	2,743,565.5(kWh)	0.000462(t-CO ₂ /kWh)
2019年度	1,125.6(t-CO ₂)	2,529,484.0(kWh)	0.000445(t-CO ₂ /kWh)
2020年度	1,080.9(t-CO ₂)	2,502,137.1(kWh)	0.000432(t-CO ₂ /kWh)
2021年度	1,093.8(t-CO ₂)	2,514,463.0(kWh)	0.000435(t-CO ₂ /kWh)

【分析】

令和3年度から原水調整池が本格稼働したこと等から、電気使用量が前年度比で若干増えたと考えられる。

(内訳 その2) 一般廃棄物の焼却の推移

	温室効果ガス排出量	焼却量	プラスチック類割合
2016年度	412.5(t-CO ₂)	677(t)	33.1%
2017年度	386.1(t-CO ₂)	667(t)	32.8%
2018年度	319.6(t-CO ₂)	618(t)	26.0%
2019年度	342.6(t-CO ₂)	556(t)	34.8%
2020年度	394.5(t-CO ₂)	603(t)	40.4%
2021年度	412.5(t-CO ₂)	700(t)	32.1%

【分析】

焼却量が前年度からさらに増えたことにより、温室効果ガス排出量が増加した。

(内訳 その3) 燃料使用(ガソリン、灯油、軽油、A重油、ガス)の推移

	温室効果ガス排出量
2016年度	221.9(t-CO ₂)
2017年度	223.6(t-CO ₂)
2018年度	210.0(t-CO ₂)
2019年度	180.2(t-CO ₂)
2020年度	207.1(t-CO ₂)
2021年度	200.3(t-CO ₂)

(3) 今後の課題等

- 節電意識を継続し、設備の入れ替え時等に省エネ化に取り組む。
- 焼却量減少を目的に、プラスチック類等のさらなるリサイクルを推進する。